

共創フロント実現案件リスト（平成 20 年度～平成 28 年度）

No.	提案者	事業名	概要
平成 28 年度			
272	株式会社リンクス 富士ソフト株式会社	SMS を使用した駐輪場利用 管理システム	利用者と運営者双方の負担軽減を目指す取組として、利用申込みから利用開始案内まで、利用者の携帯電話に送信される SMS で手続きできる新しい駐輪場利用管理システムの実証実験を実施する。
271	株式会社伊藤園 カルビー株式会社	男女共同参画推進の 啓発イベント連携開催	男女共同参画推進を啓発するイベントとして、男性が今以上に家庭で活躍し、家族みんなで協力して家事や育児を楽しむライフスタイルを提案する。「朝活」を切り口に、各種セミナーやパネルトークなどを実施する。
270	株式会社東北新社	「ひつじのショーン」を 活用した公民連携	同社が国内でライセンスを管理しているキャラクター「ひつじのショーン」が、イギリスと横浜をつなぐ親善大使へ就任し、歴史的・文化的なつながりをより深めていく取組を推進する。
269	株式会社ディー・エヌ・エー 株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 株式会社横浜スタジアム	包括連携協定の締結	DeNA グループ 3 社と横浜市で、スポーツの振興や地域経済活性化等に関する包括連携協定（愛称：I☆YOKOHAMA 協定）を締結する。
268	株式会社協進印刷	防災冊子「ぼうさいえほん」の 作成・配布	子ども向けに平易な言葉やイラストを使った防災冊子「ぼうさい絵本」を作成し、市内の幼稚園や認定こども園の児童を対象に約 52,000 部を配布する。
267	産業能率大学 立教大学	公民連携ビジネスモデル構築 コンテストの実施	産業能率大学・立教大学の合同学生サークルが、「横浜市と民間の連携により、横浜の抱える地域課題を解決するビジネスモデル構築」をテーマにしたコンテストを実施する。
266	日本 KFC ホールディングス 株式会社	包括連携協定の締結	平成 29 年 2 月に本社が横浜市に移転する機会を捉え、観光振興や食育、子ども・青少年育成等の分野において、相互に連携を強化し、横浜における市民サービスの向上を目的として『地域活性化に関する包括連携協定』を締結する。
265	株式会社 NTT ドコモ	AI を活用したごみ分別案内 サービスの共同開発	同社が持つ AI(人工知能)技術と、横浜市が持つ約 20,000 語のごみ分別の検索データを使って、ごみの出し方を対話形式で案内するサービス「イーオのごみ分別案内」を共同開発し、サービス提供の実証実験を実施する。
264	横浜オープンデータソリューション 発展委員会	「国際オープンデータデー 2017」の開催	「官民データ活用推進基本法」を横浜で具現化するための政策や仕組み、事業やプロジェクトの案出しや、対話を行うイベントを開催する。
263	株式会社イーオン	訪日外国人旅行者受入環境 整備(英語セミナー)に関する 連携協定の締結	海外からのお客様が安全・安心に滞在できる環境を整備し、市内の観光振興を図ることを目的に「訪日外国人旅行者受入環境整備(英語セミナー)に関する連携協定」を締結する。
262	日本 KFC ホールディングス 株式会社	放課後事業合同ドッジボール 大会への協賛	同大会への協力として、優勝した 2 チームへの料理体験『キッズスクール』招待と、参加者全員への KFC カード(500 円分)を提供する。
261	横浜市内読売会	放課後事業合同ドッジボール 大会への運営支援	同大会への協力として、大会開催に必要な物品等を提供し、運営を支援する。
260	国際ロータリー 2590 地区 ロータリー チャリティマラソン実行委員会	「障害者スポーツ支援・ポリオ 撲滅支援チャリティマラソン 大会」の実現	マラソン大会の開催を通じて、高齢者・障害者・子どもも含めた幅広い市民が楽しくランニングできる機会を創出する。併せて、参加費等の収入の一部を活用し、障害者スポーツの普及啓発、ポリオワクチン支援を行う。
259	イオン株式会社	金沢区出張保育イベントへの 協力	地域の保育園の保育士が、金沢八景店に出張して来店者を対象に子育て支援イベントを開催する。今後の継続的な実施に協力する。
258	イトーヨーカ堂	小型家電回収の促進	小型家電の回収率を上げるため、イトーヨーカドー上永谷店に小型家電回収ボックスを設置し、分別等啓発イベントを店舗にて実施する。また、同店において、ウォーキングポイントや食育関連イベントを開催する。
257	ソニーモバイル コミュニケーションズ株式会社	健康増進プログラムの実施	初音ヶ丘地区センターにおいて、市民向け健康増進プログラムの実証実験を実施する。
256	株式会社ハピネススタイル	アーティスト・クリエイターの 拠点形成支援	文化芸術を担う人材を誘致する事業において、関内・関外地区での拠点となる物件探しをサポートする。
255	学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校	ベイバイクの事業 PR	コミュニティサイクル「ベイバイク」の認知拡大のため、同校の学生が企画・制作し、動画制作やポスター制作などで事業 PR へ貢献する。
254	一般社団法人 知識リーダーシップ総合研究所	知識リーダーオープンユニバ ーシティの開催	組織の壁を越えた次世代リーダーらの知恵を集めて、本市から提示された社会課題に対する解決策を議論し、発表する。
253	株式会社セブン-イレブンジャパン	障害者理解を推進するための 広報協力	中区エリア内のセブン-イレブン各店舗を対象とした、障害者に関するアンケート調査の実施にご協力いただき、その結果を踏まえて中区・中区自立支援協議会が障害者理解を促進するポスター作成する。また、エリア内各店舗の店内・バックヤード等に掲示する。
252	株式会社シムズプランニング	お掃除アイドル横浜 CLEAR'S	防災あさひフェスティバルや横浜西口ハロウィン 2016 に、お掃除アイドル横浜 CLEAR'S が出演し、ごみ分別への協力を呼びかけ、本市 3R 夢事業を PR する。

251	富士ゼロックス株式会社	市立図書館の所蔵する資料を活用したカレンダー作成	同社の印刷技術を用いて明治期手彩古写真の複製をする取組する。「PHOTO YOKOHAMA 2017(フォト・ヨコハマ)」での展示し、その後市内 17 図書館での巡回展での展示を行い、市民に魅力発信を行う。
250	飛鳥交通株式会社	訪日外国人旅行者受入環境整備(タクシー)に関する連携協定の締結	海外からのお客様が安全・安心に滞在できる環境を整備し、市内の観光振興を図ることを目的に「訪日外国人旅行者受入環境整備(タクシー)に関する連携協定」を締結し、下記2つの取組を開始する。 (1) 飛鳥交通の「インバウンドおもてなしタクシー」が横浜を走行 (2) 外国人旅行者のタクシー利用に関する動向調査・分析
249	野村不動産ライフ&スポーツ株式会社(メガロス神奈川)	神奈川区の健康経営企業支援に関する覚書の締結	神奈川区企業・事業所の健康経営の取り組みを支援し、働く世代の健康づくりを推進するため、スポーツクラブ「メガロス」と神奈川区役所が健康経営事業に関する覚書を締結し、体操 DVD の作成などに着手する。
248	JVCケンウッド	横浜のラグビーを盛り上げる	日産スタジアムで開催されたジャパンラグビートップリーグのステージイベントにアイドルユニット ALLOVER が出演し、来場者に向けて「ラグビーワールドカップ 2019」のPRを実施する。
247	日本郵便株式会社	ありがとうレター(夏 ver.)の実施	教育の一環及び園児と家族との絆・交流を深めることを目的に、同取組に賛同した民間企業の協賛により「かもめーる」を市立保育園に無償で提供し、園児が家族等に宛てて書いた「かもめーる」を各家庭に配達する。
246	株式会社ポケモン	横浜市ブランド向上や地域活性化を進める連携協定	横浜の更なるブランドの向上や誘客促進、その他さまざまな行政施策の推進に繋がる、「ポケモン」を活用した事業やプロモーションを今後検討協議していくため、2020 年度までの協力協定を締結する。
245	山崎製パン株式会社	横浜山手西洋館をイメージしたパン・洋菓子の開発	山崎製パン株式会社横浜第二工場が開発販売する、横浜の特徴的な名所に因んだパン「横浜巡りシリーズ」の一環として、横浜山手西洋館をイメージした3種類のパン・洋菓子を公民連携で開発する。平成 28 年 11 月 1 日から2か月間、1都6県スーパー・コンビニなどで期間限定発売する。
244	株式会社ピリカ	横浜市におけるポイ捨て分布とポイ捨てに影響する要因の関連調査	効果的なごみのポイ捨て対策を検討するための基礎となるデータを得るため、ポイ捨て行動に影響を与える要因を市と共同で研究する。
243	株式会社ポケモンコミュニケーションズ	交通安全啓発うちわへのビジュアル提供	本市道路局が制作した交通安全啓発用の紙うちわの啓発効果を高めるため、ピカチュウをモチーフとしたイラストデザインを同社が提供する。
242	学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校	あかいくつ等の観光地を巡るバス路線の利用促進	新たに運行を開始した観光バス 3 路線「ぶらり観光 SAN 路線」のラッピングバスのペーパークラフトを制作し、平成 28 年 9 月 24 日の観光バス運行記念セミナーにて配布し PR に協力する。
241	イケア・ジャパン株式会社	三溪園ヘリラックススペースの提供	重要文化財として指定されている歴史的価値の高い建造物にIKEAの家具を配置したリラックススペースを設置し、文化芸術を楽しむ空間を期間限定で実施する。また、環境に配慮した取組として、イケア製の LED 電球の提供を受けて園内の照明をLEDに変更する。
240	日本アニメーション株式会社	子育て分野における連携	母子健康手帳の表紙に日本アニメーション株式会社のキャラクター「ペネロペ」を使用する。
239	東映株式会社	劇場版『遊☆戯☆王』ARスタンプラリー in 横浜 の開催	劇場版『遊☆戯☆王 THE DARK SIDE OF DIMENSIONS』とのタイアップ企画として、GPS、AR(拡張現実)技術を活用したスマートフォンアプリによるデジタルスタンプラリーを開催する。
238	佐川急便	包括連携協定の締結	高齢者・障害者支援や地域防災等の分野において、相互に連携を強化し、横浜における市民サービスの向上を目的として、「地域活性化に関する包括連携協定」を締結する。
237	株式会社ポケモンコミュニケーションズ	観光の賑わいづくり	みなとみらい21地区で、ピカチュウが来街者とともにダンスを楽しむ屋外型イベント「ピカチュウ大量発生チュウ！」を連携して開催。28 年度は、ピカチュウ大行進やピカチュウステージショーの他、夏の暑さを吹き飛ばすスプラッシュショーも行い、横浜の街の賑わいと集客に貢献する。
236	横浜読売会	本市事業PRうちわ制作	横浜で活動するデザイナーや、プロを目指す次世代のチャンス創出を目的とし、うちわのデザインコンテストを実施。最優秀に選ばれたデザインを配したうちわの提供を受ける。もう一面は「横浜音祭り 2016」の事業PR面として、区役所等の市内公共施設で配布する。
235	サザンビーチサーフハウス	横浜市マンホール蒔絵シール、キーホルダーの作成	横浜市のマンホール(ベイブリッジデザイン)の蒔絵シール及びキーホルダー等のグッズを作成し、販売する。
234	ブックオフオンライン株式会社	よこはま子ども寄り添いブック寄付金	不要になった本やゲーム・DVD・CD 等をブックオフオンライン(株)が買い取り、査定額に 10%上乗せした買い取り金額が(公財)よこはまユースに寄付され、困難を抱える青少年の支援に充てられる取組を実施する。

233	株式会社 資生堂	高齢者向け化粧療法の推進 (美容体験教室・講座)	化粧をすることで外出する意欲がわき、健康寿命を延ばす、介護予防を目的とした高齢者向けの美容教室を各区で実施する。
232	JVCケンウッド	フォレストノーツ	やまなし水源地や上郷の森で録音した森の音を、道志情報館水カフェどうし、道志水源林 100 年記念フォーラムや栄区役所で流すことで、市民に自然の大切さや森の魅力を発信する。
平成 27 年度			
231	株式会社ミュー	満天の湯×横浜消防の PR イベント	地域住民への防災・安全意識の啓発活動を目的に、天然温泉満天の湯で月 1 度開催している“あなたと温ステージ”イベントにおいて市消防局とタイアップしたステージイベントを開催する。
230	株式会社ぐるなび	訪日外国人旅行者受入環境整備に関する連携協定	外国人旅行者への横浜の情報提供の連携する。
229	株式会社パロマ	コンロ火災撲滅提案	住宅火災の事故の減少を図るため、SI センサー付のガスコンロの普及を促進するため、普及促進の為にポスターを提供する。
228	富士ゼロックス株式会社	市立図書館の所蔵する資料の魅力発信を目的とした明治期主彩色古写真の複製	富士ゼロックスが所有する印刷技術を用いて明治期手彩古写真の複製をする。フォト横浜での展示、その後市内 17 図書館での巡回展での展示を行い、市民に魅力発信を行う。
227	横浜市内読売会	高齢者への就労支援	高齢者を対象とした就労支援スポットを通し、高齢者を対象とした仕事の提供をする。
226	株式会社エイジレス	ベイスターズマンホールのグッズ展開	26 年度に JR 関内駅周辺へ設置した、ベイスターズのマンホールカバーのデザインを利用したストラップやコースター等のグッズ作成し、販売する。
225	株式会社 WINPRO ENERGY	ハイブリッド街路灯の設置	太陽光と風力発電を組み合わせたハイブリッド街路灯を設置し、横浜の地域防犯に役立てる。
224	株式会社 協進印刷	障害児向け防災冊子の作成・配布	障害を持つ児童向けに平易な言葉と絵による「ぼうさい絵本」を作成し、市内特別支援学校及び特別支援級の児童を対象に配布する。
223	イオン株式会社	小型家電の回収の促進	小型家電の回収率を上げるため、イオンの店舗においても家電回収を行う。
222	UCC 上島珈琲株式会社	子育て応援カフェの提案	港北区地域子育て支援拠点において、カフェインレスコーヒーを提供し、安らぎの空間の中、カフェインの摂取が気になる妊娠期や授乳期の女性にホッと一息ついてもらう。
221	カーボンフリーコンサルティング株式会社	横浜ブルーカーボン支援事業の構築による、環境省補助金の活用スキーム	横浜ブルーカーボン事業の PR のため、同事業のロゴを活用した商品等の展開をする。
220	富士ゼロックス株式会社	市立図書館の所蔵する資料を活用したカレンダー作成事業	印刷技術を用いて明治期手彩古写真の複製をする。フォト横浜での展示、その後市内 17 図書館での巡回展での展示を行い、市民に魅力発信を行う。
219	セブン&アイホールディングス (SEJ、イトーヨーカドーたまプラーザ店)	青葉区高齢者見守りネットへの協力	高齢者を地域で見守り、徘徊等あった際早急に発見できるようにする事業への協力を行う。
217	ヤマト運輸株式会社 NPO 法人こまちぷらす	ウェルカムベビープロジェクト	子どもが誕生したことを地域や NPO、企業が一体となってお祝いするため、企業から商品提供を受け、戸塚区内で希望する産後家庭に出産祝いキットを届ける。
218	株式会社セブン-イレブンジャパン	薬物乱用防止キャンペーン	薬物乱用防止キャンペーンのポスターを市内店舗に掲出する。
216	学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校	効果的なベイバイクの認知度向上について	モビリティマネジメントの推進のための企画を学生が調査・検討。制作物や媒体を限定せず、社会的問題をデザインに取り入れる。
215	学校法人岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校	効果的なモビリティマネジメントの推進について	同校の学生に、横浜都心部で実施されるコミュニティサイクル「ベイバイク」を通じて、環境に優しい交通や、エリアにおける自転車交通の役割などを調査・学習させ、利用者や市民に向けた効果的な利用促進、認知度向上のための提案・ツール作成などを行った。
214	株式会社リンク	冬休みに親子で行ける市内施設クーポン	冬休みに親子が楽しめる施設情報と割引券を掲載した、市の情報枠も入ったクーポン冊子を発行。未就学児童に配布する。
213	アクセンチュア株式会社	オープンイノベーションの取組に関する連携協定締結	オープンデータをはじめとする ICT の活用による様々な地域課題の解決及び新規事業の創出を目的に協定を締結。ダブルケア支援、青少年に対する科学技術への興味・関心の向上、困難を抱える子ども・若者支援、などの分野において連携し調査・研究を行う。
212	日本郵便株式会社	ありがとうレター	教育の一環及び園児と家族との絆・交流を深めることを目的に、同取組に賛同した民間企業の協賛により年賀ハガキを市立保育園に無償で提供。園児が、家族等に宛てて書いた年賀状を元旦に配達する。
211	株式会社京急アドエンタープライズ	『介護の日 & よこはま健康スタイル』フォーラムでの連携	京急電鉄の中吊りや駅貼りの広告スペースを活用した PR やウオーキングイベント「よこはまエンジョイウォーク」の開催等で連携する。
210	株式会社アペックス	環境イベントでの連携	環境に関する CSR 活動を推進していくため、森の魅力や役割を伝える市民参加

			のイベントである「森の楽校」において、間伐材紙を使った紙カップに苗木を入れて配布。間伐についての説明資料も添えることで環境活動のPRをする。
209	株式会社ポケモンコミュニケーションズ	西区民まつりでの連携	ポケモンセンターヨコハマとの連携によりピカチュウが西区民まつりに出演。同まつりの40周年記念企画として「ピカチュウと写真を撮ろう！」を開催する。
208	日本アニメーション株式会社	「横浜読書百貨店」での連携	横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」で読書感想文・イラストコンクール表彰式や映画上映会、講演会などを実施する。また、後日別日程で、図書館で複製原画展を実施する。
207	東映株式会社	「映画 Go! プリンセスプリキュア」とのタイアップ	同映画と連携をし、小児向け医療施策 PR(かかりつけ医、小児救急電話相談ダイヤル)や観光キャンペーン(山手西洋館での握手会、スタンプラリー、横浜マリントワーでの記念撮影スポット設置、ラッピングバス等)を実施する。
206	一般社団法人コード・フォー・ジャパン	人材派遣プログラム「コーポレートフォローシップ」の活用	本市のオープンデータやフューチャーセッションなどの取組を公民連携により一層推進するため、同法人が自治体に民間 ICT 人材を派遣する「コーポレートフォローシップ」プログラムを活用し、民間 ICT 人材を募集する。
205	株式会社乃村工藝社	QRコードを用いた多言語対応に関する連携	QRコードを読み取ると携帯端末に翻訳された内容が表示されるサービスを、市民を対象に実施した「証明発行サービスに関する市民意識調査」にて導入。実施対象者には外国籍の市民約 200 名が含まれるため、依頼状、質問状、督促状の計3か所に掲載。英・中・韓・西語など8ヶ国語に翻訳する。
204	株式会社 JVC ケンウッド	ご当地アイドルとのコラボレーション	戸塚ストリートライブと旭ふれあい区民まつりに、お掃除アイドル横浜 CLEAR'S が出演。会場の清掃やごみ分別への協力を呼びかけ、本市3R夢事業のPRを実施する。
203	イケア・ジャパン株式会社	持続可能な社会を目指す連携協定	COP21 を契機とした LED 普及キャンペーン、移動式水素ステーションの設置場所の提供、地産地消と食育の推進、持続可能な生活にかかるセミナーの開催等についての包括連携協定を締結する。
202	株式会社ゼンリン	災害対策に関する連携事例についての PR	同社のホームページにおいて、本市と同社とが進める災害対策に関する連携事例を PR する特設ページを、共同して作成する。
201	横浜市内読売会	本市施設等への食材の提供	同会で別途調達した食材(トウモロコシ)の余剰分を、本市の児童養護施設等に提供する。
200	日清食品ホールディングス株式会社	都市ブランド向上及び誘客促進に向けたプロモーションに関する協力協定	横浜の知名度・ブランドイメージ向上を観光誘客の促進を図るため、横浜の観光情報や横浜ゆかりの物産・商品など横浜の魅力情報の発信や、カップヌードルミュージアムを活用したイベントの実施及び観光局等の誘客、などに関する協力協定を締結する。
199	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	市民の安全とリスク管理に関する包括連携協定	「横浜市自転車総合計画」の策定に関連し、自転車交通事故発生時のセーフティネットの構築や、市民の交通安全に関わる啓発活動などを通じ、市民の日常生活における安心と安全の向上を目指し、市民の交通安全とリスク管理に関する連携協定を締結する。
198	株式会社横浜 DeNA ベイスターズ	横浜公園へのデザインマンホールの設置	横浜公園内の下水道マンホールの取替えに合わせ、同社がベイスターズロゴのマンホールカバーを作製し市に提供、公園内 17 か所のマンホールに設置する。
197	株式会社ポケモンコミュニケーションズ	踊る?ピカチュウ大量発生チュウ! 開催	みなとみらい21地区で、ピカチュウが来街者とともにダンスを楽しむ屋外型イベント「踊る?ピカチュウ大量発生チュウ!」を連携して開催。27年度は「ダンス」をテーマとして、本市ダンスイベントとのコラボレーションを図り、横浜の街の賑わいと集客に貢献する。
196	株式会社ポケモンコミュニケーションズ	Dance Dance Dance at YOKOHAMA2015 での連携	みなとみらい21地区で、ピカチュウが来街者とともにダンスを楽しむ屋外型イベント「踊る?ピカチュウ大量発生チュウ!」を連携して開催。27年度は「ダンス」をテーマとして、本市ダンスイベントとのコラボレーションを図り、横浜の街の賑わいと集客に貢献する。
195	三愛電子工業株式会社	会話プライバシー保護システムの実証実験	スピーカーから流れる音で会話内容をマスクすることができる「安心トーク」の実証実験を青葉区(福祉保健課、高齢・障害支援課、子育て支援課)で実施。4週間の検証期間において来庁者、職員へのアンケート等も実施する。
194	株式会社リンク	夏休みに親子で行ける市内施設クーポン	夏休みに親子が楽しめる施設情報と割引券を掲載した、市の情報枠も入ったクーポン冊子を発行。未就学児童に配布。
193	株式会社ポケモンコミュニケーションズ	交通安全啓発うちわへのイラスト提供	本市道路局が制作した交通安全啓発用の紙うちわの啓発効果を高めるため、ピカチュウをモチーフとしたイラストデザインを同社が提供する。
192	デジタルハリウッド大学大学院 株式会社パソナテック 株式会社 tvk コミュニケーションズ NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ	YOKOHAMA Ups! イベント開催	政策局主催の「YOKOHAMA YOUTH Ups!」に、デジタルハリウッド大学の学生、関係者が協力することで、今年度は学生・若者に対してアイデアソン・ハッカソンを広め、市民生活の向上に繋げる。
191	日本アニメーション株式会社	映画「シンドバットの冒険」タイアップ	映画「シンドバッド 空飛ぶ姫と秘密の島」のタイアッププロモーションとして、横浜市教育委員会後援により、「感想文・イラストコンクール」を実施。市内約 500 の小学校全児童にコンクールチラシを配付し、映画を契機とした読書活動の推

			進に向けた取り組みを実施する。
190	株式会社読売新聞東京本社 横浜市内読売会	横浜市の事業 PR うちの作成	昨年度に引き続き、本市 PR 用のうちわ 25 万枚の提供を受け、うちの一面デザインに、「Dance Dacne Dance Yokohama2015」、もう一面に「踊る？ピカチュウ大量発生チュウ！」のイラストを使用して配布する。
189	関東学院大学 株式会社 KADOKAWA	横浜学での連携	関東学院大学と横浜ウォーカーのコラボにより開催されている生涯学習講座「横浜学」の企画等について連携する。
188	ライトウエイ プロダクツ ジャパン 株式会社	自転車交通安全イベントでの連携	5月の「九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間」のキャンペーンとして、5月16日、道路局が「セーフティサイクルキャンペーン」を開催する。同キャンペーンにおいて、自転車のルールやマナーの啓発を目的に、自転車版エアバッグ(ヘルメット型)を用いた自転車スタントショーを同社と協力して実施する。
187	株式会社ポケモンコミュニケーションズ	子どもを交通事故から守ろう キャンペーンでの連携	4月の「新入学児童・園児を交通事故から守る運動」の啓発イベント「子どもを交通事故から守ろう！」キャンペーンにおいて、ピカチュウのメッセージパネル制作や啓発グッズ配布などにおいて連携する。
186	山崎製パン株式会社	横浜の歴史的建造物等をイメージした菓子パン作製への協力	同社が、パンの販売を通じて横浜市の魅力をアピールすることを目的とし、横浜市の名所(歴史的建築物、公園、テーマパーク等)にちなんだパンを企画開発する。パッケージに名所の写真やイラストを使用することについて協力する。
平成 26 年度			
185	コクヨファニチャー株式会社	窓口等のレイアウト改善	港北区役所の窓口・執務室のレイアウト改善案作成(同区の改革推進委員会のプロジェクト)に同社が協力。税部門の執務室レイアウト改善などを実施。
184	株式会社 横浜 DeNA ベイスターズ	関内地区での デザインマンホール設置	関内地区の下水道マンホールの取替えに合わせ、ベイスターズロゴのマンホールカバーを同社が作製し市に提供。関内駅周辺22か所のマンホールに設置。
183	株式会社オープン・エー 株式会社スピーク	不動産紹介・仲介サイト 「公共 R 不動産」への協力	「公共R不動産(民間活用可能な公共空間の情報を全国から集め、それを買いたい、借りたい、使いたい市民や企業とマッチングするためのウェブサイト)」の開設にあたり協力。
182	ランプサーブ株式会社	LED 通信及び Wi-Fi 提供の 実証実験	みなとみらい 21 地区(ヨーヨー広場、クイーンモール)において、LED 通信技術及びそれを利用したフリーWi-Fiの実証実験を実施。
181	第一生命保険株式会社	市民の健康づくりに係る 包括連携協定	市民の健康づくり推進に向けた連携を通じ、市民や市内企業の従業員の健康増進に資することを目的に協定を締結。本市の健康づくり関連事業(ウォーキングポイント事業や検診の案内等)PR、企業の健康講座への講師派遣等で連携。
180	株式会社ワイヤ・アンド ・ワイヤレス	訪日外国人向け 無料 Wi-Fi サービスの提供	同社と公衆無線 LAN 活用の連携協定を締結。市内の観光案内所等で 14 日間 Wi-Fi 無料のプレミアムコードを訪日外国人に配布。市内約 5,800 か所で無料 Wi-Fi サービスを提供。
179	ヤマト運輸株式会社 神奈川主管支店	保土ヶ谷区との 包括連携協定	保土ヶ谷区と同支店が、区民サービス向上や地域活性化などのための包括連携協定を締結。同社社員の認知症サポーター養成や、旧東海道保土ヶ谷宿にちなんだデザインの包装資材の作製などで連携。
178	三愛電子工業株式会社	会話プライバシーシステム の実証実験	スピーカーから流れる音で人の声をマスクし、離れた相手に聞こえにくくする会話保護のシステム「安心とーく」の実証実験を、港北区役所の複数の窓口(戸籍課、税務課、保護課)において実施。
177	ヤマト運輸株式会社	観光促進及びプロモーション に関する連携協定	観光客の便利で快適な旅をサポートし、横浜市の観光振興を図るために、連携協定を締結。主な取組として、①横浜オリジナルの包装資材「横浜ボックス」や集荷・配達用台車の作製、②手ぶら観光の拡充、などを実施。
176	株式会社ゆうちょ銀行 南関東エリア本部	中区ウォークガイドブック を活用した連携	中区のウォークガイドブックを利用して、同社が「ときめき倶楽部」会員向けのウォーキングマップを作製、会員に配布。
175	富士ゼロックス株式会社	市立図書館の所蔵資料を 活用したカレンダー作製	市立図書館所蔵の錦絵を活用したカレンダーを作製。同社が営業活動などを行う際に活用することで、自社の印刷技術のPRと共に、図書館や所蔵資料のPRに貢献。
174	日本郵便株式会社	ありがとうレター	教育の一環及び園児と家族との絆・交流を深めることを目的に、同取組に賛同した民間企業の協賛により年賀ハガキを市立保育園に無償で提供。園児が、家族等に宛てて書いた年賀状を元旦に配達。
173	株式会社リンク	冬休みに親子で行ける 市内施設クーポン	冬休みに親子が楽しめる施設情報と割引券を掲載した、市の情報枠も入ったクーポン冊子を発行。未就学児童に配布。
172	株式会社ナビタイムジャパン	ウォーキングアプリの 作製協力	同社の「ウォーキングアプリ」に、中区が作製している「ウォークガイドマップ」と「中区の歴史を 碑 もとく絵地図」のデータ等を提供し、コース情報を掲載。
171	株式会社大川印刷	お薬手帳の 啓発ポスター作製協力	同社が、本市消防局や薬局等の協力のもと「おくすり手帳」を活用した服薬管理の重要性をPRするポスターを作成・配布。
170	株式会社伊藤園	災害用備蓄品 (野菜飲料)の提供	市と同社が結ぶ包括連携協定に基づき、長期保管できる野菜飲料 10,000 本の提供を受け、市営地下鉄主要 11 駅において、帰宅困難者向けの災害備蓄品として保管。

169	株式会社協進印刷	ぼうさいえほんの作製協力	同社が、幼児向け防災教材絵本「ぼうさいえほん」を作製、市は監修で協力。市内約800か所の保育施設等に通う子どもたちの保護者全員に配布。
168	株式会社野毛印刷社	救命処置の動画作製協力	同社作製の「大地震対応マニュアル」等に関して、ネット上で配信する動画の救命措置場面撮影に協力。
167	株式会社ゼンリン	下水道BCP図上訓練における連携	大規模地震を想定した、下水道 BCP(事業継続計画)図上訓練に、同社と連携し電子住宅地図を活用。効率的で迅速な被害情報の収集や共有が実現。
166	株式会社ゼンリン	災害発生時を想定した下水道管実地調査訓練における連携	大規模地震発生の際に下水道機能の早期復旧を目指す下水道 BCP の訓練の一環として、同社の電子住宅地図に下水道管情報などを重ねた電子地図を連携して作成。下水道管実地調査訓練で使用し、その効果と有効性を確認。
165	株式会社 ポケモンコミュニケーションズ	家族の日フォーラムへの協力	内閣府・県と市が開催の「家族の日フォーラム」において、ピカチュウと一緒に親子で生活習慣やマナーを学ぶステージプログラム「ポケモンスマイルスクール」を開催。
164	株式会社 ポケモンコミュニケーションズ	西区民まつりへの協力	西区民まつりに、「ポケモンセンター横浜」が出展協力。まつりの賑わいづくりや盛り上げのために、ピカチュウも出演。
163	株式会社神奈川新聞社	介護の日フォーラムへの広報協力	健康福祉局の開催する「介護の日フォーラム」のPRのために、同社が新聞紙面等で広報協力。
162	横浜国立大学	海洋研修の実施	横浜国立大学統合的海洋教育・研究センターと連携し、海洋基本法・海洋基本計画に関連し、海洋に関する研修を共創アクションセミナーとして開催。
161	カーボンフリー コンサルティング株式会社	カーボン・オフセットの活用	同社の協力により、日揮株式会社が途上国のプロジェクト等で得た温室効果ガス排出削減量を、パシフィコ横浜と周辺3ホテル(ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、横浜ベイホテル東急、横浜ロイヤルパークホテル)から排出されるCO ₂ 排出量と相殺(カーボン・オフセット)し、市の地球温暖化対策の取組を推進。
160	ヤマハ発動機販売株式会社	交通安全イベントの実施	同社・県警と連携し、「秋の交通安全運動」に併せ、二輪車教室や自転車安全運転を学ぶイベント「セーフティーライド横浜」を、みなとみらい21地区で開催。
159	株式会社博報堂	ウォークビズによる事業PR	「よこはまウォーキングポイント事業」の申込受付開始にあたり、市内各百貨店(そごう横浜店、高島屋横浜店、京急百貨店)の協力を得て「Walk Biz(ウォークビズ)」を活用したPRを実施。
158	デジタルハリウッド大学大学院 株式会社パソナテック 株式会社 tvk コミュニケーションズ	YOKOHAMA Ups!	提案者との共催により、日常をちょっと便利で楽しくしたいという思いを持つ若者や高齢者、民間企業等がアイデアとスキルを持ち寄り、アプリ開発につなげることで市民生活の向上につなげていくアプリコンテスト「YOKOHAMA Ups!」を開催。 アプリ開発部門とアイデア部門の2部門で、アプリの提案を募集。
157	株式会社 JVC ケンウッド	包括連携協定	同社の持つ高品質な映像・音響・通信技術やコンテンツ制作、ソリューションノウハウを活かして、子育て支援や教育、シティプロモーションなどの分野で相互の連携を強化し、市民サービスの向上を図るための包括連携協定を締結。
156	日本郵便株式会社	夏休みの思い出レター	青葉区民文化センターフィリアホールで夏に開催された子ども向けイベントにおいて、スポンサー広告付きの「かもめーるハガキ」を無償配布。子供たちが家族に向けた暑中見舞いを書くことで、「手紙を書く」という機会と、「家族とのコミュニケーション」のきっかけ作りを提供。
155	Jumpers 株式会社	聴覚補助機器の実証実験	難聴者等のスムーズな会話実現のために同社が開発した「グループトーク」(FM無線方式の会話補助装置)を使用した実証実験を瀬谷区役所で実施。
154	株式会社 ポケモンコミュニケーションズ	ピカチュウ 大量発生チュウ!	みなとみらい21地区を中心に、同社が開催した屋外型イベント「ピカチュウ大量発生チュウ! at横浜みなとみらい」についての協力協定を締結し、開催を支援。横浜の街の賑わいと集客に貢献。
153	株式会社リンク	夏休みに親子で行ける市内施設クーポン	夏休みに親子が楽しめる施設情報と割引券を掲載した、市の情報枠も入ったクーポン冊子を発行。未就学児童に配布。
152	株式会社読売新聞東京本社 横浜市内読売会	節電啓発うちわの提供	同社・団体が、夏の節電啓発を目的としたうちわを作製し、市民等に提供。公共施設や地域のイベントなどで配布。平成26年度は、スタジオジブリ作品の映画「思い出のマーニー」をビジュアルで使用。
151	株式会社 ポケモンコミュニケーションズ	ポケモンスマイルスクール	ピカチュウと一緒に幼児が生活習慣やマナーを学ぶプログラム「ポケモンスマイルスクール」を、市内の約50か所の幼稚園や保育園で実施。
150	NPO 法人横浜コミュニティ デザイン・ラボ	LOCAL GOOD YOKOHAMA	同法人がアクセント株式会社と開発し運用する、ICTを活用した新たな街づくりのツール「LOCAL GOOD YOKOHAMA」(クラウドファンディング機能等を備えた地域課題解決プラットフォーム)の開設・運用に、オープンデータ活用の観点から協力。

149	一橋大学	「やさしい日本語」を用いた 公文書書き換えのシステム 構築のための協働的研究	外国人にわかりやすい日本語を研究する専門家グループと、市とが共同研究を実施。平成26年6月に共同作成した「基準」を発表。
148	横浜市内読売会	フリーペーパー「ヨコハマ よみうり」での広報協力	同会が発行する、間折り込み月刊フリーペーパー「ヨコハマよみうり」の紙面の一部に本市のPR枠を設け、公民連携事例の情報を発信。
147	ランプサーブ株式会社	LED 通信実証実験 及び 無料 Wi-Fi 環境の提供	最先端の LED 通信技術を有する同社と連携し、LED 通信技術及び訪日外国人を対象とした利用動向を検証する実証実験を実施。実験の一環として、観光客に無料のWi-Fi環境を提供。
平成25年度			
146	株式会社 アップフロントエージェンシー	かぼのだいちゃん PR ソング制作	本市環境創造局水環境キャラクターの「だいちゃん」のイメージソング(「だいちゃん」を通じて行う様々な取組みについて、市民により馴染みやすく周知するためのPRソング)を同社が制作。
145	Elphas 合同会社	子育て支援イベント「子育て EXPO」についての開催協力	大さん橋で同社が主催する子育て支援イベント「こどもEXPO」と連携し、イベント内で本市の子育て支援施策をPR。
144	日産自動車株式会社	マクドナルド「ハッピーセット (はたらくるま)」作製に 関する協力	マクドナルド「ハッピーセット」の付録DVD(トミカ働く車シリーズ)作製のために、救急車の撮影などに市消防局が協力。救急業務や車両のPRに貢献。
143	富士ゼロックス株式会社	「横浜港客船フォトコンテスト」 の写真を活用した カレンダーの作成	横浜の魅力PRとともに、同社のプリント技術の紹介も兼ね、横浜港の客船フォトコンテスト特選作品を使用したカレンダー等を連携して作成。
142	株式会社 リクルートホールディングス	ゼクシィ Premier との 共同企画による 特別編集冊子の発行	横浜の観光振興及び地域活性化を目的として、結婚情報誌「ゼクシィ Premier (プレミア)」を活用した特別編集冊子「LOVE YOKOHAMA」を共同企画し、婚姻届出用紙の受取や提出の窓口となる区役所、観光案内所等で無償配布。
141	株式会社浜銀総合研究所	産学公 PPP ワーキングの実施	同社と地元金融機関が、東洋大学大学院の協力を得て、本市とPPPに関するワーキングを開催。
140	野村證券株式会社	経済金融講座の実施	市民向けの経済・金融講座を、同社の協力により白幡地区センターで開催。
139	公益財団法人 徳間記念アニメーション文化財団 (三鷹の森ジブリ美術館)	映画「しわ」の活用による 認知症予防に関する連携	認知症をテーマとしたスペインのアニメ映画「しわ」を活用し、作品のPRと認知症の理解を深めるための連携を実施。介護の日イベントや認知症サポーター養成講座、市職員の人権研修などで上映等を実施。
138	イオン株式会社	神奈川県警と連携した 交通安全キャンペーン開催	同社の反射材付きマイバックを活用し、反射材の効果や大切さを学び、夕暮れから夜間にかけての交通事故防止を目指す交通安全キャンペーンを、イオン天王町店、神奈川県警、市の連携により実施。
137	富士ゼロックス株式会社	西区障害者自立支援協議会 と連携した弁当等の販売	同社の地域貢献として、みなとみらい事業所内で、障害者施設で製造されたお弁当などを、「ミミ★マルシェ」という愛称で定期的に販売。
136	ファイザー株式会社	禁煙・疾患(ニコチン依存症) 啓発活動	「禁煙・疾患(ニコチン依存症)啓発活動の協定」を締結。禁煙外来マップ作成配布やHPの相互リンク、市内での禁煙・疾患啓発活動に関する協力などで連携。同マップは、各社新聞折り込みチラシ等で配布実施。
135	YBC(ヨコハマズベストコレクション) 事務局	市内産業のPR	市内企業の、横浜ならではの製品(横浜家具等)を公共施設に展示することで、見学者等に、市内産業のPRを実施。
134	デジタルハリウッド大学大学院 (株)パソナテック (株)tvk コミュニケーションズ	YOKOHAMA Ups!	提案者との共催で、日常をちょっと便利で楽しくしたいという思いを持つ若者や高齢者、民間企業等がアイデアとスキルを持ち寄り、アプリ開発につなげることで市民生活の向上につなげていくアプリコンテスト「YOKOHAMA Ups!」を開催。アプリ開発部門とアイデア部門の2部門で、アプリの提案を募集。
133	株式会社協進印刷	ぼうさいえほんの作製協力	同社が作製した幼児向け防災教材絵本「ぼうさいえほん」を市が監修協力。市内258か所の幼稚園において、保護者全員に無償で配布。
132	ヤマハ発動機販売株式会社	交通安全イベントの実施	同社・県警と連携し、「秋の交通安全運動」に併せ、二輪車教室や自転車安全運転を学ぶイベント「セーフティライド横浜」を開催。
131	株式会社ゼンリン	災害時における協力関係を 構築するための協定	地図の提供や作製等で連携し、災害対応や防災・減災活動により役立つ地図開発に繋げ、市民の命を救い、きめ細やかな被災者支援等の実現を目指すための協力協定を締結。防災訓練用広域図や住宅地図(冊子・電子)の提供、災害時の地図複製の許諾、情報交換などを実施。

130	エーザイ株式会社	認知症を地域でささえるまちづくり連携協定	認知症に対する理解促進等、認知症の人が安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めることを目的として協定を締結。認知症サポーター養成講座支援や、医療関係者と介護関係者のネットワークづくり支援等を実施。
129	山崎製パン株式会社	横浜産農産物を活用した商品開発について	同社の「ランチパック」のご当地商品について、市と連携して企画段階から開発。地産地消・横浜産農産物のPRを実施。
128	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社イトーヨーカ堂 株式会社そごう・西武	選挙広報での連携	選挙啓発の広報活動における連携。市内の各店舗で、選挙啓発うちわの配布と、選挙啓発ポスターの掲示を実施。
127	株式会社日立製作所	国際技術協力および地域貢献にかかる包括連携協定	横浜市内に多くの事業所を持つ同社と、市内の地域活性化及び Y-PORT 事業に関する、包括連携協定を締結。
126	日本マイクロソフト株式会社	ICTを活用した事業連携の拡大	2010年に締結した、サイエンスフロンティア高校の人材育成やICT教育に関する連携協定をベースに、ICT活用による女性の多様な働き方支援、オープンデータ推進による市内経済活性化などに連携を拡大。
125	東宝株式会社	映画『アンパンマン』との連携による事業PR	映画「アンパンマン」とタイアップし、こども青少年局の子育て支援事業「ハマハグ」のPRを実施。同社がポスターや葉を作成し、公共施設等で掲示・配布。
124	東日本電信電話株式会社 神奈川支店	海外からの観光客向け『FreeWi-Fi』の提供と多言語対応観光ガイド等の配信	訪日外国人観光客が、市内のNTTのアクセスポイントで2週間・フリー・無料でWi-Fiが使えるIDカード等を、同社との連携により観光案内所等で配布。
123	株式会社読売新聞東京本社 横浜市内読売会	節電啓発うちわの提供	同社・団体が、夏の節電啓発を目的としたうちわを作製し、市民等に提供。公共施設や地域のイベントなどで配布。平成25年度のビジュアルは、スタジオジブリ作品「風立ちぬ」。
122	東宝株式会社	映画「図書館戦争」との連携による図書館PR	映画「図書館戦争」とのタイアップとして、映画で使用した衣装や小道具等を都筑図書館で展示。図書館の紹介展示も同時に行い、作品の知名度を生かして図書館PRも実施。
121	東宝株式会社	映画「はなかつぱ」との連携による予防接種の啓発	映画「はなかつぱ」とのタイアップとして、映画のビジュアルを活用した、麻しん・風しん予防接種をPRするポスターを映画会社が作製し公共施設で掲示。
120	有限会社 BABYsue デザインシステム	ご当地マンホールコースターの商品化	横浜Fマリノスのマンホールデザインを活かした、ラバーコースターの商品化。同時に、横浜市のベイブリッジデザインのマンホールも商品化。
平成24年度			
119	株式会社読売新聞東京本社 横浜市内読売会	休刊日チラシの裏面活用	従来、白紙だった同社新聞の休刊日チラシの裏面について、同社の協力により市の情報枠として利用。
118	東宝株式会社	映画「だいたい3組」との連携による人権啓発	小学校を舞台とした映画「だいたい3組」(原作は乙武洋匡氏)を、人権教育を目的に教員向けの研修で活用。
117	コクヨファニチャー株式会社	港北区窓口改善プロジェクト	港北区の改革推進委員会の取組である窓口改善プロジェクトと連携。同社が持つノウハウを活かした実証実験を実施し、窓口レイアウトの改善を検証・実施。
116	東宝株式会社	映画「コドモ警察」との連携による、盗難防止啓発	横浜を舞台にした映画「コドモ警察」の公開に合わせて、市と県警が行う自転車盗難防止キャンペーンとのコラボレーションを実施。
115	株式会社エイジレス	ご当地マンホールストラップの商品化	市内で展開する「デザインマンホール」について、横浜Fマリノスのマンホールデザインを活かした携帯ストラップを商品化。同時に、ベイブリッジデザインのマンホールも商品化。
114	富士ゼロックス株式会社	市立図書館の所蔵資料を活用したカレンダー作製	同社の印刷技術PRも兼ね、市立図書館所蔵の錦絵を活用したカレンダーを作成。同社が営業などで活用することで、図書館や所蔵資料のPRに貢献
113	株式会社FREEing	「横浜人形の家」でのフィギュア展開催	集客アップ貢献を目的として、同社製品であるキャラクターコンテンツを使用したフィギュアの展示会を同施設内で開催。
112	株式会社弘亜社	映画「レ・ミゼラブル」との連携	映画「レ・ミゼラブル」と連携し、フランス、18世紀から19世紀という時代背景、クリスマスなどを切り口に、山手西洋館(横浜外交官の家)でタイアッププロモーションを実施。
111	郵便事業株式会社 (現:日本郵便株式会社) 南関東支社	ありがとうレター	教育の一環及び園児と家族との絆・交流を深めることを目的に、同取組に賛同した民間企業の協賛により、年賀ハガキを市立保育園に無償で提供。園児が家族等に宛てて書いた年賀状を配達。
110	横浜市内読売会	商店街振興と連携した地域活性化活動	同団体が(社)横浜市商店街総連合会が行う商店街振興の取組と連携し、地域活性化を目指すため市商連と協定を締結。コロッケ、スイーツのNo.1店舗を決めるコンテスト「ガチコロ!」「ガチあま!」のPRなどを実施。
109	東宝株式会社	「映画『今日、恋をはじめます』」との連携による	市内ロケを行った映画「今日、恋をはじめます」で、観光振興や地域活性化のためのタイアッププロモーション「横浜で『今日、恋をはじめます』」を実施。イルミネ

		観光振興・地域活性化	ーション情報付きの「恋する横浜・デートスポットマップ」を作製・配布。
108	株式会社伊藤園	地域活性化に関する 包括連携協定	平成 24 年 8 月に同社と締結した「災害時における生活必需物資の供給協力に 関する協定」を拡大する形で、様々な分野での連携について協定を締結。主 に、キャリア支援、環境、防災、食育、その他の分野で連携。
107	株式会社読売新聞東京本社 横浜市内読売会	子育て応援プロジェクト 「トツキトウカ YOKOHAMA」 との連携	同社・団体が出展する子育てイベント「ファミリーライフフェア」に関して連携し、 本市の関わるトツキトウカ YOKOHAMA の PR 等を、同社・団体ブースで実施。
106	株式会社トンボ	公立中学校での 「制服着こなしセミナー」実施	横浜市立中学校において、制服の着こなしを正しく理解してもらうための、生徒 を対象としたセミナーを実施。
105	横浜スポーツエンタテインメント 株式会社	第 5 回アフリカ開発会議 (TICAD V) の PR に関する協力	平成 25 年 6 月に横浜で開催された、第 5 回アフリカ開発会議(TICAD V)の PR に関して、横浜市に本拠地を置くプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセ アーズ」と連携し、試合会場やイベント会場において PR を実施。
104	NTT タウンページ株式会社	横浜市行政情報タイアップ 電話帳の発行	NTT東日本が発行し配布する「タウンページ」に、本市で作製している「くらしの ガイド」の中の行政情報を追加掲載し、市全域に配布。
103	株式会社ラボプランニング	止血パッドの提供による 地域貢献	地域貢献を目的に、同社の製品である「止血パッド」を、市消防局等に提供。実 際の救急の現場で活用。
102	横浜市内読売会	財政局広報冊子「ハマの台所 事情」の配布協力	財政局が発行する財政広報冊子「ハマの台所事情」を、同団体の協力により、 市内の新聞購読者へ配布。
101	大塚製薬株式会社	「中学生を対象とした防災対 応力強化研修」への協力	戸塚区の「中学生を対象とした防災対応力強化研修」において、同社が有する 研究成果・データや震災復興支援活動を通じて得た知見を用いながら、訓練参 加者に対し、備蓄食糧の栄養バランスについての講話や展示などを実施。
100	日発販売株式会社	港の見える丘公園 UW 旗用照明の提供	スタジオジブリの公認スポットとして、港の見える丘公園内に設置している、UW 旗(映画「コクリコ坂から」の記念スポット)にライトアップ用の LED 投光器を設 置。同社の社会・地域貢献活動の一環として実施。
99	コクヨファニチャー株式会社	「『栄村知り隊』事業」における 栄村の間伐材を利用した 事前学習	栄区主催の子ども向けイベントにおいて、同社の持つ「森林保全」の取組みのノ ウハウをもとに、間伐材等を使った、玩具づくりを子どもたちに教えるコーナーを 提供。
98	株式会社東京ニュース通信社	心肺蘇生法 スマホアプリの作製	幅広い層への自助意識の構築と緊急時対策を目的に、画像・テキスト・動画に よる心肺蘇生法・AED 利用の手順を示すスマートフォンアプリを市と共同作製。
97	株式会社リタレーディング	ヨコハマライブラリーカフェ における連携	フェアトレード品の普及と啓発、地域貢献を目的として、同社が輸入するフェア トレードのコーヒーや紅茶を、中央図書館で開催している「ヨコハマライブラリーカ フェ」の場で無償提供。
96	大塚製薬株式会社	熱中症予防セミナー の開催	同社の社会貢献の一環として、同社の研究成果などを活かして、市民向けの熱 中症予防セミナーを開催。
95	ウォルト・ディズニー・ジャパン 株式会社	「コクリコ坂から」DVD・BD 発売に伴う観光タイアップ キャンペーンの実施	映画「コクリコ坂から」の DVD 発売に伴い、①複製原画による「コクリコ坂から」 展の開催、②横浜特別版 DVD の製作、③試写会等イベントの実施、などの販 促・観光キャンペーンを実施。
94	株式会社読売新聞東京本社 横浜市内読売会	節電啓発うちわの提供	同社・団体が、夏の節電啓発を目的としたうちわを作製し、市民等に提供。公共 施設や地域のイベントなどで配布。平成24年度のビジュアルは、スタジオジブリ 作品「コクリコ坂から DVDヨコハマ特別版」のパッケージイラスト。
93	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社イトーヨーカ堂 株式会社そごう・西武	包括連携協定	21 年度に締結した(株)セブン-イレブン・ジャパンとの包括連携協定を、(株)セブン- イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂及び(株)そごう・西武に締結主体を拡大及び 内容も拡充して協定を再締結。
92	東京ガス株式会社横浜支店	ゴーヤを使った 節電、みどりアップ企画	「夏の節電」及び「みどりアップの推進」を目的に、①ゴーヤ苗の提供、②節電啓 発パンフレットの印刷、③みどりアップ宣言への登録促進、④料理教室への協 力等、について同社が実施。
91	イオン株式会社	包括連携協定	市民サービスの向上と地域の一層の活性化を目指し、観光・スポーツ振興、環 境保全・活動支援、子育て支援、健康づくりなどの分野で連携を進めるために、 包括連携協定を締結。
90	株式会社読売新聞東京本社 横浜市内読売会	読売新聞による報道写真展 開催に関する協力	読売新聞が有する報道写真等を活用した、東日本大震災をテーマとした報道写 真展を、横浜市市民防災センターで開催。
89	富士ソフト株式会社	シニア向け人型ロボット の試行実験	同社が開発中の人型ロボット「PALRO」を使用し、介護予防支援を主目的に、実 際の運用上・技術上・貢献度の課題を抽出する実証実験を福祉施設で実施。
平成 23 年度			
88	東京ガス株式会社横浜支店	自治会町内会用回覧板 の作製・提供	災害時等のガスの安全設備の取扱方法を裏面に入れた、自治会町内会用の回 覧板を同社が作製し、地域に提供。

87	おもいやりライト運動事務局	「おもいやりライト運動」との交通安全啓発タイアップ	夕暮れ時のヘッドライト早期点灯をドライバーに呼びかけて交通事故を削減する「おもいやりライト運動」について、市民向け交通安全推進事業と連携して啓発を実施(市営バス後部にラッピングを施し、走行中のドライバーに呼び掛け)。
86	株式会社毎日新聞社	横浜市×「だいたいようぶ」キャンペーン 官民連携セミナー	市民と企業・団体そして行政が連携し、「みんなが安心して暮らせる街づくり」を目指す「だいたいようぶ」キャンペーン(事務局:毎日新聞社)と連携。「東日本大震災を通じて、公民が連携し安心・安全な街づくりを考える」をコンセプトに、民間と行政の対話の場として「公民連携セミナー」を開催。
85	2012 映画プリキュアオールスターズNS製作委員会	映画「プリキュアオールスターズ New Stage みらいのともだち」との連携	横浜を舞台にした映画「プリキュアオールスターズ New Stage みらいのともだち」の上映を契機に、行政施策 PR(小児救急短縮ダイヤル)や観光振興を目的としたタイアッププロモーションを実施。
84	社団法人日本宅配水協会	宅配水を活用したヨコハマ3R プランへの協力	マイカップ利用促進の支援のため、市民利用施設に一定期間無償で宅配水のサーバー設置を実施。
83	郵便事業株式会社 (現:日本郵便株式会社) 南関東支社	ありがとうレター	教育の一環及び園児と家族との絆・交流を深めることを目的に、同取組に賛同した民間企業の協賛により年賀ハガキを市立保育園に無償で提供。園児が、家族等に宛てて書いた年賀状を配達。
82	株式会社 NTT ドコモ	「通話電話サービス」の社会実験	区役所等での外国人住民とのコミュニケーションの向上など多文化共生に向けた取組の推進及び国際都市横浜のアピールを目的に、同社が開発中の異なる言語(英語、ハングル、中国語)での会話を可能にする「通話電話サービス」の実証実験を、区役所窓口などにおいて実施。
81	横浜市内読売会	市内の児童福祉施設へのクリスマスプレゼント	児童福祉施設(市内 37 施設)に入所している子どもたちのために、同団体が各施設にDVD等のクリスマスプレゼント提供や施設訪問を実施。
80	株式会社裏面広告どっとこむ	広告入り A4版無償印刷用紙の提供	市役所の経費削減を目的に、裏面の一部に広告を掲載した、A4印刷用紙を市に無償で提供。庁内公募で決定した使用希望部署で試用使用。
79	東京ガス株式会社横浜支店	横浜観光 PR 用カレンダーの作製・提供	写真家森日出夫氏が撮影した中華街やマリンタワーなどの観光スポットの写真を活用し、横浜市の観光 PRにつながる卓上カレンダーを作製・提供。横浜市観光案内所などで観光客等に配布。
78	ハバタク株式会社	レゴ・シリアスプレイ・メソッドを活用したビジョン共創ワークショップの実施	異なる価値観の調整が特に必要となる部署や人材育成に係る部署を対象とし、「共創」を推進していくために必要な対話力、チーム構成力を向上させる研修をトライアルで実施。
77	株式会社アメニティ	新横浜駅北口公衆トイレへのネーミングライツ	新横浜駅北口に市が設置している公衆トイレについて、改修やメンテナンスなどの協力を行うことを対価とする形のネーミングライツを新たに導入。愛称は「ドゥアメニティ 新横浜駅前 トイレ診断士の廁堂」。
76	東京ガス株式会社横浜支店	火災予防意識向・安全安心なまちづくりのための連携	市民の火災予防に対する意識を高め、安全・安心なまちづくりを推進するため、火災防止に関するクリアファイル作成。PR・啓発ツールとして市消防局などが開催する様々な訓練・イベント・会合の場で配布。
75	株式会社ありあけ	被災地支援商品についての協力	同社が新たに開発した東日本大震災復興支援商品「濱の絆」について、横浜橋通商店街の協力を得て、同商店街のイベント時に販売ブースを設置。
74	横浜橋通商店街 横浜デジタルアーツ専門学校 横浜市内読売会	市内商店街と学校法人、企業が連携した新聞の発行	商店街の賑わい創出のため、新聞発行、新聞記事の作成・編集で企業・学校が連携して同商店街の号外新聞を発行、商店街イベント時に配布。
73	東京ガス株式会社横浜支店	緑のカーテン等節電に関する冊子の作製	温暖化対策および節電を推進するため、市が持つ各種データ等を活用し、緑のカーテンの栽培及び料理レシピ等を掲載した、節電に資する冊子を作成・配布。
72	ライトウェイプロダクツジャパン株式会社	イベント等への自転車の提供	自転車を使ったライフスタイルを普及させるため、市が行うイベント等に自転車を提供(横浜トリエンナーレ 2011 のイベント PR キャラバン等で活用)。
71	株式会社 NDC グラフィックス、 光画コミュニケーションプロダクツ株式会社	中央図書館の所蔵資料を使ったポストカードの作成	横浜に存在した花火製造所「平山煙火」の花火カタログ(中央図書館所蔵)を、ポストカード「平山煙火製造所昼花火絵入型録」として商品化し、市内のお土産物店で販売することで、図書館のPRに寄与。
70	横浜市内読売会	独居高齢者等の孤独死防止を主眼とした見守りネットワークの構築	南区六ツ川地区連合を対象として、独居高齢者等の見守りを目的に、地域と民間企業が相互協力し、新聞配達時等を活用した見守り支援を実施。
69	KDDI 株式会社	コクリコ坂から×KDDI @横浜市キャンペーン	横浜を舞台とする、スタジオジブリ映画「コクリコ坂から」の上映を契機として、映画のメインスポンサーであるKDDI株式会社と市、スタジオジブリが連携し、観光振興等のためのプロモーションを展開。
68	富士ゼロックス株式会社	出力環境の可視化と継続的改善活動による環境負荷(CO2)の低減調査	環境負荷の少ないオフィス環境の構築を目指し、市役所のオフィスでの出力環境(プリンター、複合機の配置・台数・稼働率)の最適化による電力消費量低減を目指した出力環境の調査を実施。

67	富士通株式会社	横浜市と富士通(株)による PC消費電力量測定実験	節電の取組の一環として市庁舎内のPCの省電力設定の効果を「見える化」して実感することを目的に、同社製のスマートコンセントを使用して消費電力量測定実験を実施。
66	株式会社横浜屋本舗	横浜地産地消ブランドの 商品化	横浜産トマトを100%使用したトマトソースを同社が製造・販売。市内農家から不整形などのトマトを低コストで調達するなど、企業と農家の地産地消による連携関係を構築。
65	JFEエンジニアリング 株式会社 横浜支店	廃棄物・水ビジネス分野に おける国際事業展開	廃棄物・水ビジネス分野において新たな国際ビジネス展開へのアイデアを有する同社と、都市基盤整備や廃棄物・水インフラ運営に関するノウハウを有する本市とが、具体的な推進体制を進めるために包括連携協定を締結。
64	株式会社トーカイ	QR広告付き 玄関マットの導入	QRコードを用いた広告付き玄関マットを図書館に設置。市側の費用負担なく、設置と維持管理を実施。
63	URIMAT Japan 株式会社	エコトイレの導入実験	同社の「エコトイレ」(男性用無水小便器)を、「エコ森」がコンセプトの金沢動物園に無償により設置。水が不要でCO2が発生しない、掃除の手間がかからない、などの導入メリットについて実証実験を実施。
62	横浜マリノス株式会社	新横浜地区でのデザイン マンホール設置	新横浜地区の地域活性化などを目的に、同社が横浜F・マリノスのキャラクターをモチーフにしたマンホールカバーを作製し、新横浜地区の下水道マンホールに設置。
平成22年度			
61	株式会社毎日新聞社	横浜市×「だいじょうぶ」 キャンペーン 公民連携セミナーの開催	“みんなが安心・安全に暮らせる街”を理念に展開される「だいじょうぶ」キャンペーン(事務局:毎日新聞社)と連携。同キャンペーンに協賛する民間事業者等と市の防災・防犯等の各分野の担当部署で対話の機会を設け、行政課題解決や公民連携の可能性についてセミナー形式で意見交換を実施。
60	株式会社ソーケン	間伐材活用製品の加工作業 に関する社会貢献	同社が社会貢献として行っている、間伐材を活用して製作する木工製品の加工作業を、障害者地域作業所限定で発注する取組を実施。
59	有限会社有アンド長	エコ食卓イベントの開催	地産地消、省エネ、安心・安全、食育を地域の人たちと学ぶイベントを、同社が女性の起業支援のため運営している「みんなのキッチン」と区役所、そして地域のNPOが連携で開催。横浜ブランドを展開する食関係企業も協力。
58	みずほ証券株式会社	公共施設・インフラ改修、維持 保全へのPPP導入に向けた 共同研究	国内外のPPP事例や資金調達のノウハウを有する同社と連携し、公共施設・インフラ改修、維持保全へのPPP導入について、幅広く検討し、効果的で実現可能性の高い共同研究を実施。
57	ブエナパス・クッキングルーム	市内農家とタイアップした 地産地消啓発イベント実施	冬野菜の収穫体験と収穫した野菜の調理を通じて、横浜の農業・農産物の魅力を知り、地産地消の推進につなげるモデル事業を実施。
56	コトラボ合同会社	地産地消の朝市で 地域を活性化	寿町周辺の買物に不便な地域で、横浜の農家が生産した新鮮野菜を扱う朝市を開催することで、寿町の取組を知ってもらいながら地域課題を解決するという地域活性化事業を実施。
55	NPO 法人環境まちづくりネット	ガム取り街美化活動	APEC開催都市である横浜市において、開催エリア付近でガム取りを行い、来訪者に対して街の美化を啓発。
54	ダノンジャパン株式会社	離乳食教室での啓発活動	各区の福祉保健センター離乳食教室で、教材配布による離乳食啓発活動に同社が協力。
53	岡部産業株式会社	APEC開催に伴う 地元企業の地域貢献	APECの開催エリアを中心に、同社の社会貢献として落書き消し・ゴミ拾い・草刈り等、地域美化を実施。
52	横浜地域情報化推進協議会	地域情報化に関する シンポジウム開催	総務省から助成を受け、地域ICT(情報コミュニケーション技術)推進事業を行っている同協議会が主催するシンポジウムの開催周知の協力。 「横浜市情報化の基本方針」(素案)に関する議論も実施。
51	日総びゅあ株式会社	障害者による通所介護施設 清掃・レクリエーション実施	横浜市の福祉施設において、トライアルによる障害者の就労機会を実現。
50	株式会社資生堂	高齢者の QOL向上・介護予防活動	高齢者のQOL向上・介護予防として、高齢者に対する「化粧品教室」をトライアルで実施。
49	地方自治体公民連携研究会	公民連携の共同研究	共創フロントの実現事例について、実現要因、今後の課題など、各事例の検証を通して分析する共同研究を実施。
48	日総びゅあ株式会社	APECにおける おもてなしの提供	APECの国際メディアセンター(プレスセンター)において、障害者雇用の拡大に取り組む同社の社員がひとつひとつ作り上げたハープ&ティを提供。
47	横浜市内読売会 株式会社読売新聞東京本社	ファイ Y2サポートプロジェクト	市内の読売新聞販売店の連合体である、3読売会(北部・東部・西部)及び読売新聞東京本社販売局と協定を締結し、地域貢献に関する取り組みで連携。
46	ITカーズ株式会社 インターセプト株式会社	断熱フィルムの実証実験	磯子地域ケアプラザにて、当該施設における断熱効果を図るため、提案者との連携により断熱フィルムを設置する実験を行い、その効果を確認。

45	株式会社うるる	在宅ワークに関する連携	「よこはま若者サポートステーション」において、引きこもりなど働くことに困難を抱える若者たち向けに「在宅ワーク講座」を実施。 さらに、よこはま若者サポートステーションでの若者向けの中間的な働き方としての、トレーニングメニューの検討を実施。
44	株式会社大川印刷	食品原材料表示の バリアフリー化	NPO インターナショナル、大川印刷、NDC グラフィックスの三者連携で「食のピクトグラム」を開発。APEC 横浜開催へ向け、主要ホテル、レストラン、また、APEC 関係会議レセプション等で使用。
43	近畿日本ツーリスト株式会社 横浜市立大学	公民連携による「地域ブランド の構築」の講座開設	横浜市大が近畿日本ツーリストと実施中の「支援講座」において、ぐるなびほか産官学連携で、「着地型観光」に関する学生へのインプット及び商品開発アイデアのアウトプットを企画する講座を実施。
42	白鷗大学	白鷗大学が実施する 研究への支援	日本学術振興会から補助金を受けて実施する「情報・生活環境とがん予防に関する調査」に必要な調査に協力。
41	公益財団法人 起業家支援財団	iSB公共未来塾(内閣府「地 域社会雇用創出事業」) の開催協力	NPOや社会的企業などの人材育成、運営力強化などを旨とする、iSB公共未来塾の開催にあたって、その広報・周知や講座コンテンツの提供など、横浜市との連携・協力体制を構築。
40	株式会社パソナ	パソナ版シャドウキャビネット との連携	「子ども・若者育成支援推進法」に基づき設置された「横浜市子ども・若者支援協議会」に、同社社員が委員として参画。
39	NPO 法人ブラストビート 国連 UNHCR 協会	「CampBeat」プロジェクト 実施による地域活性化	難民キャンプに学校をつくることを目的として、プロアーティストのゆずが呼びかけ人となり、国連UNHCR協会や教育プログラムを提供している大学生とともに立ち上がった、「CampBeat」プロジェクト。 「あなたと創る難民音楽レーベル♪」というコンセプトのもと、ケニアの難民アーティストを発掘し、日本で投票イベントを行い、ゆずが監修後、日本で音楽配信。6/20(世界難民の日)イセザキモールでのイベントに横浜市が後援。
38	NPO 法人 ミニシティ・プラス	つづきジュニア編集局 プロジェクトへの協力	都筑区役所の事業で行ってきた、つづきジュニア編集局プロジェクトのスポンサー募集について支援。
37	表示灯株式会社	広告付き案内地図の 市公共施設への導入	駅に設置されている駅周辺案内地図のノウハウを活かして、広告付き周辺案内地図を中央図書館に無償で設置。
36	公益財団法人 起業家支援財団	内閣府「地域社会雇用創出 事業」の 横浜市での開催支援	内閣府から同法人が受託して、横浜で実施する人材育成のための講座等のプレイベントとしてシンポジウムを開催。シンポジウムの広報・周知、後援などにおいて市が連携し協力。
35	日揮株式会社	海外展開に関する、市との 意見交換会・勉強会の開催 (国際技術協力に関する包括 連携協定の締結)	国際貢献と横浜市の新たな財源確保に資する海外展開について、市との意見交換会・勉強会の開催を実施し、その可能性や方向性について協議。新興国をはじめとする国際社会の発展に寄与・貢献することを目的に、公民連携による国際技術協力に関する包括連携協定を締結。
34	Empire Entertainment Japan 株式会社	イベント企画による 地域活性化	所属タレントのマルコ・テンペスト(バーチャルマジシャン)によるマジックイリュージョンのステージショーを公立病院にて実施。
33	株式会社 CHINTAI	ZAGAT サーベイ 横浜版の拡充	「ザガットサーベイ 2011 東京／横浜のレストラン」における取組を、「食」の面から観光振興や地域経済振興に結びつける地域活性化に有効な事業として、後援・支援を実施。
32	関外地区3商店街、横浜市歌で 盆踊り実行委員会	「横浜市歌で盆踊り」 プロジェクトへの支援	Y150 をきっかけとした、新たな市民文化の創造を掲げ「横浜市歌」で盆踊りを企画。市内各所への普及活動及びサポートを実施。(市民へ広く普及していくため、プロジェクトの公共性を高めるためのアドバイスと協力)
31	NPO 法人 横浜コミュニティ デザイン・ラボ	総務省助成「ICT ふるさと元気 事業」への協力	地域における ICT 人材の育成と活用を目的とした事業「地域レポーターが地域活性化を支援するユビキタスメディア基盤事業」に同法人が申請するにあたり、横浜市として協力。
30	ストラテジック・デザイン ・イニシアティブ株式会社	『JAPAN 在線』を利用した 中国への横浜 PR	(財)横浜観光コンベンション・ビューローにおいて、中国人向け日本情報ポータルサイト『JAPAN 在線』での中国向けに PR を行なうため、横浜特集を掲載。
29	日本アイ・ビー・エム株式会社	CO2削減に向けた大規模 交通シミュレーションの実施	大規模交通シミュレーションを実施し、計測可能な基盤を把握したうえで、協議会を設置し、交通行政に関する官民協働の具体的な CO2 削減策を計画・立案。(環境省「平成 21 年度チャレンジ 25 地域づくり事業(計画策定)」に同社が応募)
28	新日本有限責任監査法人	自己改善を促進する組織 マネジメント・ガバナンスの あり方の検討	総務省「地方公共団体における内部統制の在り方に関する研究会報告書」や民間企業等の事例を参考として、横浜市が直面するリスクに適切に対応し、自己改善を促進する組織マネジメント・ガバナンスのあり方について、共同で検討。
27	カーボンフリー コンサルティング株式会社	電動スクーターの モニタリング導入提案	環境負荷の小さい電動スクーターを横浜市に無償貸与。横浜市は、一定期間実験的に使用し、モニタリングすることで、今後の電動スクーターの導入および市民への普及啓発に向けた検討のきっかけとして実施。
26	セグウェイジャパン株式会社	パーソナルモビリティを使った	「セグウェイチャレンジ」(セグウェイ利用についての提案募集に採択されると無

		地域活性化	償でセグウェイが提供されるというプログラム)に、金沢動物園での活用提案が採用。5台が無償で提供され運用。
25	株式会社モスフードサービス	社会貢献の一環とした地域清掃活動	地域社会への貢献、ごみ減量化の普及等を目的とした、市内及び県内のモスバーガー店長による地域清掃活動の実施。
平成 21 年度			
24	フェリス女学院大学	食の大切さや環境知識を伝えるイベントの開催	山下公園内ハッピーローソンで、同大学生が紙芝居や市内産野菜の配布などで、食に対する興味と環境への意識を高めてもらう子ども向けイベントを開催。
23	三菱倉庫株式会社	歩道橋におけるネーミングライツ	横浜駅ポートサイド人道橋について、ネーミングライツを導入。愛称は「ベイクォーターウォーク」。
22	日本アイ・ビー・エム株式会社	横浜市立学校とのコラボレーション授業の実施	IBMの社会貢献活動として、「環境」「英語」「理科」の教育支援プログラムを実施、同社社員がボランティアとして、学校で授業を実施(小中8校で実施)。
21	日本アイ・ビー・エム株式会社	はまぎんこども宇宙科学館での環境教育プログラム開催	IBMの社会貢献活動として、同社社員のボランティアにより「はまぎんこども宇宙科学館」において、子ども向けの環境教育のゲーム、風力発電機の組み立て体験等を通じた、環境教育プログラムを開催。
20	日本アイ・ビー・エム株式会社	はまぎんこども宇宙科学館でのロボット教室開催	IBMの社会貢献活動として、同社社員のボランティアにより「はまぎんこども宇宙科学館」において、子ども向けロボットプログラミング体験講座を開催。
19	スローフード・ジャパン 東京事務所	「スローフードニッポン 2009」開催に伴う地域活性化	横浜の国際プロモーションの推進の観点から市がコーディネートを行い、市内資産を有効活用等した公民連携イベントとして実現。
18	楽天株式会社	よこはま国際協力 チャリティーオークション	楽天オークションサイトを利用して、国際貢献のためのチャリティーオークションを実施。
17	NPO 法人 ミニシティ・プラス	こどものまち EXPO の支援	横浜市が郵便事業会社の年賀寄付金配分申請に協力することにより、「こどものまち EXPO」を開催。また、イベントと会議に連動して次世代育成シンポジウムやこどもシンポジウムを実施し、次世代育成支援行動計画への調査も実施。
16	電源開発株式会社	下水汚泥から再生エネルギーの創出・活用についての公民連携による共同研究	温暖化対策として、下水汚泥からエネルギー資源を創出・活用(燃料化)するため、公民連携による共同研究を実施。研究結果については、今後の事業化へ向けた検討の一つのモデルとして活用。
15	JFEエンジニアリング 株式会社	障害者の就労の場・販売ルートの確保	市内の障害者地域作業所で製作されたパンを、JFE エンジニアリング(株)横浜本社内において販売。
14	横浜薬科大学	公園野球場におけるネーミングライツ	戸塚区俣野公園野球場についてネーミングライツを導入。愛称は、「俣野公園・横浜薬大スタジアム」。
13	NPO 法人オレンジシート・プロジェクト事務局設立準備室	街の「優先席」プロジェクト	お年寄りや、からだの不自由な方々が、いつでも気軽に休めるための椅子「オレンジシート」を市に提供。
12	株式会社ローソン	包括提携協定	環境保全、地球温暖化対策や子ども育成、地域の安全・安心確保、災害対策、観光、地域ブランド振興、住民サービスの向上などの分野について、地域活性化などの分野について、市と連携を進めるため包括連携協定を締結。
11	横浜開港アンデパンダン展 実行委員会	「150周年関連イベントに対するバスの提供」	開港 150 周年記念事業として市内全 18 区の美術家・美術愛好者を出展の対象とした無審査形式の展覧会を開催。その中で、バスを使った実験的なアートプロジェクトに、交通局が路線バスを貸切運行(有償)した。
10	横浜開港アンデパンダン展 実行委員会	「150周年イベントへの参加者募集」	開港 150 周年記念事業の一環として、市内全 18 区の美術家・美術愛好者を出展の対象とした無審査形式の展覧会を開催。
9	株式会社テレビ神奈川	携帯端末を活用した地域コンテンツ配信実験事業	ニューメディア開発協会の助成金を獲得して実験事業を実施。インターネットや携帯端末を活用した新たな放送形態の開発を目指す社会実験を行う。Y150をはじめとする地域イベント情報や防災情報を配信。
8	NPO 法人Check	ユニバーサル・デザインのトイレマップ作成	子ども連れの方、障害者、外国人等の誰もが使いやすいトイレを示した「横浜観光ユニバーサルデザイントイレマップ」を作成し、横浜観光コンベンションフォーラム認定事業として、インターネットで情報発信。
7	日本インラインチャレンジ協会	プールのオフ時期の有効活用	夏季以外の休業期間中の屋外プールサイドを、インラインスケート場として有効活用。
平成 20 年度			
6	ヤフー株式会社	インターネット地図の活用提案	(財)横浜観光コンベンション・ビューローの観光施設等のデータを活用し、連携させることで、マップ上での施設検索などを容易にした。また、市の子育て支援事業「ハマハグ」サイトにおいても施設情報と連携した地図情報を提供。
5	楽天株式会社	Y-150 とのタイアップ事業	楽天「ニッポンを元気にしよう!プロジェクト・まち楽」サイトにおけるY150のPR。楽天市場の地域関連商品に特化したサイト「まち楽」に開国博 Y150 の情報を、横浜開港 150 周年協会から提供を受けて掲載。
4	楽天株式会社	EC(e-commerce)を通じた障害者就業支援事業	楽天市場の地域展開と、NPO が手がけていた地域作業所製品の PR サイトを連携させ、E コマース(電子商取引)を推進。「あったかハート横濱良品館」として、コーズリレーテッド(慈善事業協賛型)マーケティングによるブランド化を図る。事業化にあたっては「経済の新たな担い手創生事業」として、テレワークを活用。

3	株式会社 セブン-イレブン・ジャパン	包括提携協定	安全で安心して生活できるまちづくりと市民サービスの向上、地域社会、産業の活性化と横浜ブランドの向上、環境問題に対する取り組み、災害対策などの分野について、市と連携を進めるため包括連携協定を締結。
2	学校法人サンモール インターナショナルスクール	市立高校と連携した 国際教育プログラムの展開	横浜サイエンスフロンティア高校とサンモール・インターナショナルスクールの生徒が相互に訪問し、先端科学技術の実験・実習や、文化祭や学校行事、国際コミュニケーション力育成のためのプログラムを実施。
1	コトラボ合同会社	厚生労働省「先進的事業支援 特例交付金」の活用提案	厚労省の先進的事業計画に基づく市町村提案事業として、寿地区での高齢者の居場所運営と自立支援、ニート若者自立支援を連携して行う事業所を設置。雇用の場として、お好み焼き「ころんぶす」石川町駅前店をオープン。